

## 27年6月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成27年6月1日～ 27年6月10日

## 2. 調査実施方法

全国の木材チップ工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
6月分の回答企業数は11社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) チップ用国産原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/6月	7月	8月
入荷動向	スギ・ヒノキ	△ 30.0	△ 22.7	△ 22.7
	マツ	△ 36.4	△ 36.4	△ 31.8
	広葉樹	△ 15.4	△ 11.5	△ 23.1
消費動向	スギ・ヒノキ	△ 20.0	△ 16.7	△ 5.6
	マツ	△ 16.7	△ 11.1	△ 22.2
	広葉樹	△ 4.2	0.0	4.2
在庫動向	スギ・ヒノキ	△ 27.3	△ 18.2	△ 40.9
	マツ	△ 27.3	△ 22.7	△ 31.8
	広葉樹	△ 16.7	△ 8.3	△ 33.3

・チップ用国産原木の入荷は3ヵ月連続して減少。

・スギ・ヒノキ及びマツの原木の消費は3ヵ月連続して減少、広葉樹は総じて横ばい。

・原木の在庫はいずれの樹種も3ヵ月連続して減少。

## (2) チップ用国産原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	27/6月	7月	8月
スギ・ヒノキ	13.6	13.6	4.5
マツ類	9.1	0.0	0.0
広葉樹	0.0	3.8	7.7

・チップ用国産原木の購入価格はスギ・ヒノキはやや強含みで推移、マツ及び広葉樹は総じて保合。

## モニターからのコメント

## (原木荷動き)

- ・国有林の生産請負が始まり、原木集荷が難しい。立木の手当てが順調でない。在庫を見ながらの生産となる。在庫減少が顕著（東北）。
- ・仕入は、スギは国有林の伐採が7～8月以降のため入荷少ない、マツは季節要因で伐採少なく減少、広葉樹は天候安定で順調入荷。在庫変化なし（東北）。
- ・広葉樹は5月から入荷良好で、6月も良好、7月は雨季のため減少、広葉樹の消費は増加、在庫は針葉樹は横ばい、広葉樹はやや増加（中国）。
- ・発電事業会社の本稼動で原木仕入減、翌月、翌々月は伐採時期悪く、仕入減少。消費は原木不足で減少。在庫減（四国）。
- ・梅雨のため伐採後すぐの材の入荷は減少、スギ、ヒノキはC材が春先までに伐られて山床にあるため変わりなく入荷、工場の改修で7月末まで生産止まる、その間在庫は増える（九州）。
- ・仕入は、低調に推移（九州）。

## (原木価格)

- ・仕入単価強含み（東北）。
- ・燃料用チップ材の増加で値上がり気味（東北）。
- ・変動なし（中国）。
- ・変動なし（四国）。
- ・バイオマス発電用、間伐材等は高値、取引先の一部は他への出荷となった。広葉樹は4月にチップ価格が上がったのでそれに合わせて原木価格を改訂中（九州）。
- ・スギ原木の価格値下がり状況。広葉樹は現況維持（九州）。

## 27年6月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 2

## 4. 調査結果の概要

## (1) 木材チップの荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/6月	7月	8月
生産動向	スギ・ヒノキ	△ 20.0	△ 30.0	△ 5.0
	マツ類	△ 25.0	△ 20.0	△ 15.0
	広葉樹	△ 4.2	△ 8.3	0.0
出荷動向	スギ・ヒノキ	△ 15.0	△ 25.0	5.0
	マツ類	△ 22.7	△ 18.2	△ 13.6
	広葉樹	△ 3.8	△ 3.8	3.8
在庫動向	スギ・ヒノキ	△ 27.8	△ 27.8	△ 27.8
	マツ類	△ 38.9	△ 33.3	△ 33.3
	広葉樹	△ 22.2	△ 16.7	△ 22.2

・木材チップの生産はスギ・ヒノキ及びマツ類は3ヵ月連続して減少、広葉樹は総じて横ばいで推移。

・木材チップの出荷は、8月には増加するものもあるが、総じて減少。

・木材チップの在庫は3ヵ月連続して減少。

## (2) 木材チップ出荷価格動向(自社サイロ下渡し) W. D. I.

品目	27/6月	7月	8月
スギ・ヒノキ類	10.0	0.0	0.0
マツ類	10.0	0.0	0.0
広葉樹	0.0	0.0	0.0

・木材チップの出荷価格は、スギ・ヒノキ及びマツ類が強保合で推移、広葉樹は横ばいで推移。

## モニターからのコメント

## (木材チップ荷動き)

- ・生産減少の見通し、出荷減少、在庫なし(東北)。
- ・出荷の横ばい～やや増加は、燃料用チップの増加による(東北)。
- ・製紙用チップ(広葉樹)入荷が良好で増産、出荷増、在庫は変動なし(中国)。
- ・燃料用の生産は安定だが、製紙ボード用は原木不足で生産減少。出荷は燃料用安定だが、原木単価高値にて製紙ボード用へ出荷減少。製紙ボード用の在庫減少、燃料用は横ばい(四国)。
- ・製紙用の出荷要請あるが工場改修で減産、後半から発電用出荷始まる(九州)。
- ・スギ、ヒノキは注文に応じた生産、広葉樹は計画に伴って生産、出荷(九州)。

## (木材チップ価格)

- ・変わらず(東北)。
- ・変動なし(中国)。
- ・変動なし(四国)。
- ・4月の改訂価格がしばらく続きそう(九州)。
- ・現状で推移(九州)。